

株式会社 坪 田 工 務 店



2023年度 環境経営レポート

(対象期間:2023年 6月～2024年5月)



発行日： 2024年10月2日

改訂日：

ごあいさつ

株式会社坪田工務店は、昭和３８年の設立以来、建築工事業を通して地域社会の発展に尽力してまいりました。全従業員が地球環境の保全の重要性を認識し、環境負荷の低減に努めることにより、美しい国土の維持、人と環境が共存する社会を目指して取り組んでまいります。

環境経営方針

当社は、建築工事、土木工事の各事業分野において地球環境の保全のために、環境負荷の一層の低減を図るべく、全社一丸となって、自主的・積極的に環境への取組を推進します。

- １．環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
- ２．二酸化炭素排出量の削減を推進します。
(電力、ガソリン、軽油、灯油、LPG)
- ３．廃棄物の削減を推進します。
- ４．建設現場等での建設リサイクル、再生資源の利用を推進します。
- ５．水道使用量の削減を推進します。
- ６．環境に配慮した施工を推進します。
- ７．本方針を全従業員に周知徹底します。
- ８．環境経営の継続的改善を推進します。

制定日：2014/6/1

改定日：2019/6/1

代表取締役 坪田充治

□組織の概要

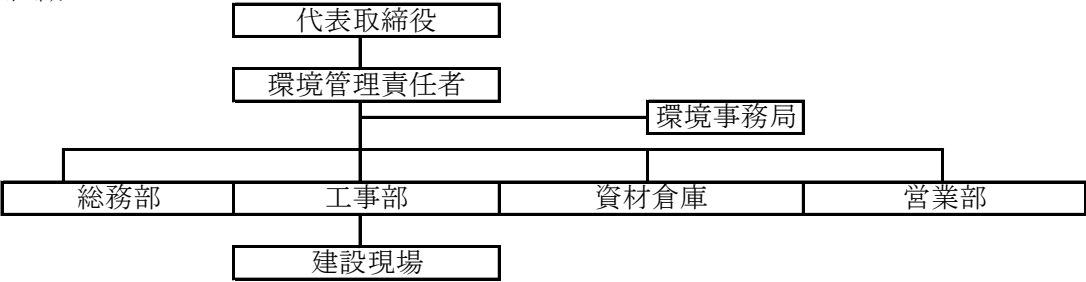
- (1) 名称及び代表者名
株式会社 坪田工務店
代表取締役 坪 田 充 治
- (2) 所在地
本 社 〒670-0057 兵庫県姫路市北今宿一丁目5番3号

資材倉庫 〒670-0055 兵庫県姫路市名古山町262番地
- (3) 環境管理責任者及び担当者の氏名連絡先
環境管理責任者 高橋 敏郎 TEL:079-298-8000
E A21事務局 高橋 敏郎 FAX:079-293-0246
E-Mail : takahashi@tcc21.co.jp
- (4) 事業内容
建築工事業、土木工事業
許可番号 兵庫県 第 450263 号 許可年月日 令和 4年4月30日
許可期限 令和 9年4月29日
- (5) 事業の規模
設立 昭和38年3月1日
資本金 3千万円
売上高 26億円(2023年度実績)

各事業所の規模

	本社	資材倉庫	計
従業員	24名	1名	25名
延べ床面積	449㎡	478㎡	927㎡

(6) 組織



- (7) 事業年度 6月～翌年5月

□認証・登録の対象範囲

登録組織名：株式会社 坪田工務店

対象事業所：本社
資材倉庫

活動：建築工事業、土木工事業

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年度 基準年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	93,911	101,537	93,911	93,707	95,372
電力	kWh	35,344	36,725	35,344	35,860	37,747
ガソリン	L	28,835	33,132	28,835	28,872	32,572
軽油	L	4,544	1,683	4,542	2,795	2,474
灯油	L	1,661	510	1,661	364	604
L P G	kg	54	60	56	58	60
一般廃棄物	kg	544.0	600.0	544.0	548.0	612.0
産業廃棄物	トン	207	255	207	230	148.72
水使用量	m ³	103	116	103	112	123

注1) 電力の二酸化炭素排出係数は関西電力㈱2021年度調整後係数の0.311 kg-CO₂/kWhを使用

注2) 化学物質は使用していない

□環境目標及びその実績

(1) 中期目標

年 度		2021年度 基準年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
項 目						
I 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂	93,911	92,972	92,281	91,339	88,469
	対基準		△1%	△2%	△3%	△4%
	kWh	35,344	34,991	34,637	34,284	33,930
電力使用量削減	kg-CO ₂	10,992	10,882	10,772	10,662	10,552
	対基準	0.311	△1%	△2%	△3%	△4%
ガソリン 使用量削減	L	28,835	28,547	28,258	27,970	26,851
	kg-CO ₂	66,897	66,228	65,606	64,937	62,339
	対基準	2.32	△1%	△2%	△3%	△4%
軽油 使用量削減	L	4,542	4,497	4,451	4,406	4,360
	kg-CO ₂	11,718	11,601	11,681	11,562	11,443
	対基準	2.58	△1%	△2%	△3%	△4%
灯油 使用量削減	L	1,661	1,644	1,628	1,611	1,595
	kg-CO ₂	4,136	4,095	4,056	4,015	3,974
	対基準	2.49	△1%	△2%	△3%	△4%
L P G 使用量削減	kg	56	55.4	54.9	54.3	53.8
	kg-CO ₂	168	166	165	163	161
	対基準	3	△1%	△2%	△3%	△4%
II 廃棄物の削減						
①一廃総排出量	kg	544.00	538.56	533.12	527.68	522.24
産業廃棄物 リサイクル率向上	%	71.5%	72.0%	72.5%	73.0%	73.5%
①産廃総排出量	t	207.0	205.0	203.0	201.0	199.0
②再資源化量	t	147.9	147.6	147.2	146.7	146.3
III 水道使用量 の削減	m ³	103	102	101	99.9	98.9
IV 環境配慮の 施工	対基準		△1%	△2%	△3%	△4%
	%	100%	100%	100%	100%	100%

注1) 産廃排出量、再資源化量は目標設定せずに実績を正確にフォローする。

注2) リサイクル率＝(②/①)×100%

(2) 運用期間の実績

年度 項目		2021年度	運用期間における実績			
		6月～5月	(2023年度)			
		基準値	目標	実績	達成度	評価
Ⅰ．二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂	93,911	92,972	95,372	97.48%	△
	対基準		△1%	+1.6%		
電力 使用量削減	kWh	35,344	34,991	37,747	93%	△
	kg-CO ₂	10,992	10,882	11,739		
	対基準	0.311	△1%	+6.8%		
ガソリン 使用量削減	L	28,835	28,547	32,572	87.64%	×
	kg-CO ₂	66,945	66,276	75,567		
	対基準	2.320	△1%	+13.0%		
軽油 使用量削減	L	4,542	4,497	2,474	182%	○
	kg-CO ₂	11,920	11,801	6,383		
	対基準	2.58	△1%	△54.5%		
灯油 使用量削減	L	1,661	1,644	604	272%	○
	kg-CO ₂	4,139	4,098	1,504		
	対基準	2.49	△1%	△275%		
L P G 使用量削減	L	56	55.4	60	92%	△
	kg-CO ₂	168	166	180		
	対基準	3	△9%	+7.14%		
Ⅱ．廃棄物の削減						
一般廃棄物	kg	544	538.56	612.0	88.0%	×
産業廃棄物	t	207.0	205	148.2	138%	○
Ⅲ．リサイクル率向上						
再資源化率	%	71.5%	72%	70.44%	97.80%	△
再資源化量	t	148	149.48	104.4		
Ⅳ．水道使用量 削減	m ³	103.0	102.0	123.0	83%	×
	対基準		△9%	+19.4%		
Ⅴ．環境配慮の 施工	%	100%	100%	100%	100%	○
	対基準					

注) 評価欄にて、○：達成(100%以上)、△：やや未達成(90%以上100%未満)、
×：未達成(90%未満)
※ 産業廃棄物リサイクル率を目標を20%を70%に変更する。(当初の自己チェック様式の一部が
欠落していたため、基準値を変更)

□環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価結果と次年度の取組内容
I 二酸化炭素排出量の削減 (目標やや未達成)		
・排出量の削減	△	僅かに達成できなかった。今後も継続
電力使用量の削減 (目標やや未達成)		
・空調温度の適正化 (冷房28℃暖房20℃)	△	年間を通じて節電を心掛け継続。
・不要照明の消灯	○	不要照明の消灯を徹底の継続。
・設備の空転禁止	○	もっとこまめに入・切の操作をする。
ガソリン使用量の削減 (目標未達成)		
・移動コースの効率化	○	達成できた。今後も継続
・急加速・急停車の防止	○	普段より安全運転に注意しているのでまずまずできた。
・空気圧、オイル等の点検	○	こまめな点検をしてきたが、これからも継続する。
軽油使用量の削減 (目標達成)		
・重機の空ふかしの禁止	○	エコドライブを実行する。
・アイドリングストップ	△	なかなか実行しできていない。今後の継続目標。
・空気圧、オイル等の点検	○	こまめな点検をしてきたが、これからも継続する。
灯油使用量の削減 (目標達成)		
・室内温度の適正化	○	徹底する。
・部屋解放の禁止	○	徹底する。
・不在時点火の抑制	○	徹底する。
LPG使用量の削減 (目標やや未達成)		
・使用湯量の節減	△	意識してできた。
・不要保温時間の短縮	△	不要時は使用していない。
	△	目標に達するよう努力する。
II 廃棄物の削減		
廃棄物の削減 (目標未達成)		
・分別によるリサイクルの推進	○	分別管理ができリサイクル率が上がった。
・ミスコピーの防止	○	自動サイズコピー機の採用で少なくなった。
・裏紙の活用	○	まずまず出来ている。継続。
III 産業廃棄物のリサイクル率向上 (目標やや未達成)		
・分別によるリサイクルの推進	○	産廃業者もリサイクルの意識が高まり継続する。
・素材ボックスの設置	○	大きな現場では出来ているが小規模な現場は難しい。継続。
・保管場所の掲示板を設置	○	設置済みである。
・仮設資材の再利用の推進	△	再利用可能なものは出来ている。継続。
IV 水道水使用量の削減 (目標達成)		
・節水の周知徹底 (節水シールの貼り付け とポスター掲示)	○	節水意識の継続
・清掃時・手洗い時の節水	○	より多くの工夫ができるようにする。
V 環境配慮の施工 (目標達成)		
騒音振動対策	○	低騒音、低振動型重機の使用
粉塵対策	○	散水等の実施により実施。
廃棄物対策	○	マニフェストによる管理

□環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守する事項	遵守評価
廃棄物処理法	保管基準の遵守、収集運搬・処分業者との適正な契約、マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の提出	遵守
建設リサイクル法	建築物等の分別解体義務、事前届出 特定建設資材廃棄物の再資源化義務	遵守
建設業の再生資源利用省令	再生資源、建設工事副産物の再利用 再生資源利用計画書、実施記録の作成	遵守
大気汚染防止法	特定粉じん排出等作業の実施の届出、作業基準の遵守 石綿使用の事前調査、調査結果の発注者への書面説明、同書面写しの保存(3年)、現場掲示。	遵守
自動車NOx・PM法	規制対象車両の登録禁止 規制対象車両の指定地域通行禁止	遵守
騒音規制法	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
振動規制法	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
姫路市公害防止条例	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
低騒音・低振動型建設機械の規程	低騒音・低振動型建設機械の使用の促進	遵守
消防法	消火設備・火災警報設備の点検整備	遵守
フロン排出抑制法	フロン類使用機器の簡易点検と記録、漏洩防止、廃棄時の適切な処置(フロン回収義務)、記録保存(廃棄後3年)	遵守

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていることを確認しました。
なお、環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

当社は、良い地球環境や自然環境を次世代に残すための取り組みの大切さを社員全員が認識し、数年間エコアクション21に取り組んで来ました。一般社員も徹底しております。
夏の暑さ、冬の寒さにクールビズ、ウォームビズを取り入れて少しでも電力使用量の削減を目指す。又、環境経営の継続的改善を推進します。実績については目標達成の分野もあれば未達成の分野もみられ、まだまだ不十分である。産業廃棄物については、リサイクル率の向上を目指す。
環境経営方針、目標・活動計画、実施体制その他について変更はしない。

2024年10月2日

代表取締役 坪 田 充 治